

教材2-1(1)の解答 漢字の書き

年

組

番

名前

○次の文章の——のひらがなを漢字に直して正しく書きましょう。

わたしの父は、山登りが好きです。五月の連休に

は、まいとし大山に登ります。そして、必ずしやしん

をとってきます。その中にしんりよくの木の葉がとて

もうつくしくうつっているものがあります。わたし

は、自然にしたしむと、こうふくな気持ちになりま

す。実さいに山に登りたいと思うので、今度父に、よ

ていを聞いてみようと思います。

こうえんにある花や草もよいけれど、野や山の草木

もよいと思います。知らない草や花もあると思うの

で、今度としよかんで野草についてしらべてみたいで

す。

- ⑩
調
- ⑨
図
書
館
- ⑧
公
園
- ⑦
予
定
- ⑥
幸
福
- ⑤
親
- ④
美
- ③
新
緑
- ②
写
真
- ①
毎
年

て

しむ

しく

教材2-1(2)の解答

漢字の書き

年

組

番

名前

○次の文章の——のひらがなを漢字に直して正しく書きましよう。送りがあるものは、送りがないも書きましよう。

今日は、①かぞくと②いっしょに電車に③のつて、お出かけを
しました。

③えきに着くと、④とおくに⑤みなとが見えました。

えき前の大きな⑥どうろをわたって、⑦さかを上ると、大きな

⑧びょういんがありました。となりには、市役所と⑨ぎんこうが

ならんで立っていました。

その先の角を曲がると、ようやくデパートに着きました。わ

たしは、そこで、赤い⑩ようふくを買ってもらいました。

帰りには、レストランで食事をして帰りました。

⑩

洋服

⑨

銀行

⑧

病院

⑦

坂

⑥

道路

⑤

港

④

遠く

③

駅

②

乗って

①

家族

教材 2-1(3)の解答

漢字の書き

年
組
番
名前

○次の文章の——線部のひらがなを漢字に直して正しく書きましよう。
 しょう。また、(ア)に入る言葉を調べて書きましよう。送りがあるものは、送りがないも書きま

「さるも木からおちる」ということわざの①いみは、木②のぼりが

③じょうずな④どうぶつであるさるでも、木から落ちることがあるように、

どんな名人も、たまには⑤しっぱいすることもあるということす。

一つのことわざに対して似たいみのことわざや、⑥はんたいのいみのこ

とわざもあります。似たいみのことわざには、

「かつばの(ア)「や、弘法にも⑦ふでのあやまり」があります。

ことわざは、⑧せいかつの中で役立つちえや、教えなどをふくんだ

⑨みじかい言葉です。昔の人が考えた言い方が、今のせいかつに生きてい
 るのです。

- ア ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①

川 流 れ
短 い
生 活
筆
反 対
失 敗
動 物
上 手
登 り
意 味

年

組

番

名前

○次の文章の——線部のひらがなを漢字に直して正しく書きましよう。送りがあるものは、送りがなも書きましよう。

① きしやのまどから、けしきを楽しむ。

② 新聞きしやの取材を受ける。

③ 学級いいんの指示にしたがう。

④ 初めて歯科いいんに行った。

⑤ 友だちと、意見があう。

⑥ 友だちと、駅であう。

⑦ 新年があける。

⑧ ビンのふたをあける。

⑨ すきまをあける。

①

汽車

②

記者

③

委員

④

医院

⑤

合う

⑥

会う

⑦

明ける

⑧

開ける

⑨

空ける